

法学部A方式Ⅰ日程・文学部A方式Ⅱ日程・経営学部A方式Ⅱ日程

3 限 選 択 科 目 (60分)

科 目	ペー ジ	科 目	ペー ジ
政治・経済	2～27	日 本 史	28～45
世 界 史	46～61	地 理	62～77
数 学	78～83		

〈注意事項〉

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
2. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
3. 科目の選択は、受験しようとする科目の解答用紙を選択した時点で決定となる。一度選択した科目の変更は一切認めない。
4. **数学**については、定規、コンパス、電卓の使用は認めないので注意すること。
5. マークシート解答方法については以下の注意事項を読みなさい。

マークシート解答方法についての注意

マークシート解答では、鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答はHBの黒鉛筆でマークすること(万年筆、ボールペン、シャープペンシルなどを使用しないこと)。

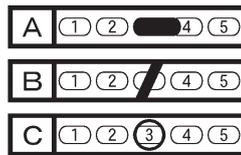
記入上の注意

1. 記入例 解答を3にマークする場合。

(1) 正しいマークの例



(2) 悪いマークの例



枠外にはみださないこと。

○でかこまないこと。

2. 解答を訂正する場合は、消しゴムでよく消してから、あらためてマークすること。
3. 解答用紙をよごしたり、折りまげたりしないこと。
4. 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

6. 問題冊子のページを切り離さないこと。

(日 本 史)

〔 I 〕 つぎの文章を読んで、下記の問いに答えよ。

律令国家においては、中央と地方とを結ぶ交通制度が整えられた。都から地方にのびる官道(駅路)が整備され、駅制が敷かれた^a。地方では駅路と離れて郡家(郡衙)などを結ぶ伝路が設置された。こうした古代官道の遺跡は側溝をもつ道路遺構として各地で発見されている。

国司は国府において地方を統治していた。国府には政務や儀礼をおこなう国庁、^b実務をおこなう役所群、国司の居館や倉庫群などが置かれ、一国内の政治や経済の中心をなしていた。また、741年に出された国分寺建立の詔によって、諸国には国分寺と国分尼寺が国府の近くにつくられることになった^cため、一帯は文化の中心ともなったのである。各郡の政治的な拠点となった郡家も郡庁・郡役所や郡司の居館・倉庫群などをもち、付近に郡司の氏寺をもつ^dなどしていた。国府や郡家の遺跡からは木簡や墨書土器が出土することが知られており、律令制のもとで地方においても文書主義にもとづいた行政がおこなわれていたことがわかる。^e

郡家の統治を受けた地方の村落には竪穴住居も存在していたが、平地式の掘立柱建物も西日本から普及していった。^f8世紀頃の東国においては竪穴住居が基本で、数棟の竪穴住居に倉庫などの掘立柱建物1～2棟と井戸を単位としており、それがいくつも集合して村落をなしていた。村落内部には簡単な仏堂建物も含まれていたものと考えられている。そこに暮らした農民たちは公地公民制のもとで班給された口分田を耕作して租税をおさめたほか、口分田以外の公の田や寺社・貴族などの土地を借りて耕作し、^g地子をおさめた。また、農民に対しては強制的な稲の貸し付けもおこなわれた。^h

政府は生産力を高めるために鉄製農具や進んだ灌漑技術を用いて耕地を拡大することにもつとめた。ⁱ人口の増加など社会状況の変化につれて口分田も不足するようになり、政府は開墾を進めて税の増収をはかるためにさまざまな政策をとったが、^jその一方では貴族・寺院や地方豪族による私有地の拡大が進行することに

もなった。これらを初期莊園と呼んでおり、大寺院は広大な原野を独占し、灌漑施設をつくって開墾^kをおこなった。農民の中にも、富裕になるものと貧困化するものがあられ、口分田を捨てて浮浪人となるものや、逃亡するものも増えていった。^l

問1 下線部 a の交通制度に関連する記述として正しいものはどれか。以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 現在の距離で約16kmごとに駅家が設置され、一定数の駅馬を配置していた。
- イ 律令国家によって東海・東山・陸奥・北陸・山陰・山陽・南海の七道へと続く官道が整備された。
- ウ 官道には駅路とそれ以外の伝路があり、伝路は網目状の構成をとり農民によって自発的に管理された。
- エ 駅家は駅鈴をもつ公用の役人(駅使)が利用し、駅馬は農民が兵役に赴く際にも利用した。

問2 下線部 b の国司に関する記述として誤っているものはどれか。以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 国司は中央政府から派遣された。
- イ 『古今和歌集』の撰者としても知られる紀貫之は、土佐国の国司となった。
- ウ 国司は一国の行財政、司法、軍事など政務の全般をとりおこなった。
- エ 11世紀以降は、地方行政のすべてを国司に任せるかわりに一定の税を中央政府に納入させることとした。

日本史

問3 下線部cの国分寺建立の詔に関連して、このころの仏教をめぐる記述として誤っているものはどれか。以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 聖武天皇は政情不安や飢饉の相次ぐ状況下で、鎮護国家の思想にもとづいて国家の安定を図ろうとして仏教興隆をめざした。

イ 大仏造立の詔は、国家の範を示すべく国分寺建立の詔に先立って出されたが、大仏が完成したのは聖武天皇の没後であった。

ウ 国分寺造営は地方にとって大事業であり、重い負担となったために完成が遅れ、多くの場合地方豪族の協力をあおいだ。

エ 国分僧寺には20人の僧と金光明最勝王経をおき、国分尼寺には尼10人と妙法蓮華経をおき、両寺はともに国司が管理した。

問4 下線部dの郡司に関する記述として誤っているものはどれか。以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 郡司は基本的に終身官であった。

イ 郡司は国司の下で郡の民政と裁判を担当した。

ウ 郡司は守・介・掾・目の四等官からなっていた。

エ 郡司には多くの場合伝統的な地方豪族が任じられた。

問5 下線部eの木簡に関する記述として正しいものはどれか。以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 8世紀に記された紙の文書は現存しておらず、木簡に記された文書が歴史解明の主な手がかりとなっている。

イ 長屋王邸出土木簡の解読によって、大宝令施行以前には地方行政単位の「郡」は「評」と記されていたことがわかった。

ウ 木簡は表面からしみこんだ漆によって被覆されており、そこに残された文字を解読することができる。

エ 木簡には文書のほかに各地からの貢進物の荷札などの付札や、習書などがあることがわかっている。

問6 下線部 f の竪穴住居に関して、日本列島において複数の竪穴住居によって構成される集落が一般化するのほどの時代からか。以下のア～エのなかから正しいものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 旧石器時代 イ 縄文時代 ウ 弥生時代 エ 古墳時代

問7 下線部 g の租税に関して、養老令の規定による正丁・次丁・中男の負担についての記述として誤っているものはどれか。以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 租は正丁・次丁・中男いずれも田1段につき稲2束2把をおさめることになっていた。

イ 調は絹・緇・糸・布などの繊維製品や地方の特産物をおさめるもので、次丁は正丁の2分の1、中男は正丁の4分の1を負担した。

ウ 庸は都での労役(歳役)10日にかえて布2丈6尺をおさめるもので、次丁は正丁の2分の1、中男は正丁の4分の1を負担した。

エ 雑徭は地方での60日以下の労役で、次丁は正丁の2分の1、中男は正丁の4分の1を負担した。

問8 下線部 h の稲の貸し付けについて、春に稲を貸し付け、秋の収穫期に高い利息を付けて回収したものを何と呼ぶか。以下のア～エのなかから正しいものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 出挙 イ 布帛 ウ 義倉 エ 仕丁

問9 下線部 i の鉄製農具に関連して、原始・古代の金属とその利用についての記述として誤っているものはどれか。以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 弥生時代には鉄製の刃先をもつ農具の使用が始まった。

イ 古墳時代前期には鉄製の武器や農工具が古墳の副葬品となった。

ウ 仏教の伝来とともに、百済から鉄製の馬具が新たにもたらされた。

エ 律令国家のもとで長門の銅、陸奥の金などの採掘がおこなわれた。

日本史

問10 下線部 j の政策について、この時期に出されたものを古い順に並べた組み合わせとして正しいものはどれか。以下のア～カのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 墾田永年私財法→三世一身法→百万町歩の開墾計画
- イ 墾田永年私財法→百万町歩の開墾計画→三世一身法
- ウ 三世一身法→百万町歩の開墾計画→墾田永年私財法
- エ 三世一身法→墾田永年私財法→百万町歩の開墾計画
- オ 百万町歩の開墾計画→三世一身法→墾田永年私財法
- カ 百万町歩の開墾計画→墾田永年私財法→三世一身法

問11 下線部 k の初期荘園に関する記述として誤っているものはどれか。以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 初期荘園は庄所を中心として経営された。
- イ 初期荘園は国司や郡司の地方統治に依存するかたちで営まれていた。
- ウ 初期荘園には独自の荘民をもたない例が多かった。
- エ 初期荘園は郡司の権限の拡大が契機となって衰退していった。

問12 下線部 l の浮浪人や逃亡に関する記述として正しいものはどれか。以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 浮浪人は、桓武天皇のころになると浮浪人帳に登録されるなどして、公民とは別な身分としてあつかわれた。
- イ 有力農民の中にはあえて浮浪人となって経営を拡大しようとする者もあらわれた。
- ウ 逃亡したものは国家によって所在が把握され、租や庸をおさめた。
- エ 逃亡したものは国家の許しを得て僧となる例が多く、天平文化の隆盛に貢献することとなった。

〔Ⅱ〕 つぎの文章を読んで、下記の問いに答えよ。

全国各地に置かれた荘園については、様々な理由で、その様子をいろいろな形で描いた多くの絵図が作成された。現存する荘園絵図は、約200点ほどだと言われている。古代の初期荘園では開田状況を記録した墾田図(開田図)が作成された。それは班田収授のために作成された班田図の影響を受けている(あるいは流用している)ので、 区画が描かれていて、そのマス目のなかには土地の所有関係まで詳細に書かれているものもあった。

中世になると に任命された武士と荘園領主との間で支配権をめぐる争いが頻発し、係争地点を明記した相論図が作成された。また、その解決のため双方が幕府に訴えたりしたが、 の 未納や勢力拡大は抑えようもなく、幕府もまた当事者間での を勧めたりしたので、荘園領主は様々な形で妥協せざるを得なくなっていた。

問1 空欄 ～ に入るもっとも適切な語句を、以下のア～ナのなかからそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | | |
|------|------|--------|--------|
| ア 灌漑 | イ 墾田 | ウ 口分田 | エ 名田 |
| オ 勅旨 | カ 荘官 | キ 開発 | ク 開発領主 |
| ケ 田堵 | コ 名主 | サ 作人 | シ 守護 |
| ス 地頭 | セ 年貢 | ソ 臨時雑役 | タ 調庸 |
| チ 夫役 | ツ 和与 | テ 譲与 | ト 一期分 |
| ナ 条里 | | | |

日本史

問2 下線部について，例えば荘園領主の妥協の結果を示した，次頁に掲載したような絵図が作成された。この絵図は伯耆国(現在の鳥取県の一部)東郷荘の状況を描いたものであるが，この図が作成された時期として正しいものを，つぎの年表のア～オのなかから一つ選び，その記号を解答欄にマークせよ。

年表

←									
オ	承久の乱おこる	エ	源頼朝が東国支配権を獲得	ウ	平治の乱おこる	イ	後三条天皇即位	ア	

問3 下線部の荘園領主の妥協の状況について，次頁に掲載した絵図も参考にしながら，具体的に80字以内で説明せよ。なお歴史的事項については，漢字で答えること。また句読点は1字分とし，西暦などの算用数字は2桁を1字分として記入せよ。

下書き用(横書き，20字×4行=80字)→



描かれた景観(伯耆国東郷荘の場合)(『中世荘園絵図大成』より)

※一点鎖線は境界線で、その両端の左右に権力者2名の^{かおう}花押がある。

日本史

〔Ⅲ〕 つぎのAとBの文章を読んで、下記の問いに答えよ。

A

森山孝盛は、^a1738(元文3)年に森山盛芳の次男として生まれた。通称は熊五郎、^b後源五郎。父盛芳は大番や鉄砲筆筒奉行を勤めた後、1757(宝暦7)年に没し、家督は孝盛の義兄盛明が継いだ。盛明は、森山家と同じく大番筋の家柄であった依田信義の次男から養子に入り、やはり大番を勤めた後、1771(明和8)年に隠居した。かくして孝盛が家を継ぐ。このとき数えて35歳。森山家の知行所は上総国武射郡木戸村・下横地村・松ヶ谷村(いずれも現千葉県山武市)に^c300石のほか、別に切米100俵があった。

孝盛は大番を振り出しに、1784(天明4)年9月に小普請組頭、1790(寛政2)年9月に徒頭、1791年5月に目付、1794年3月に先手鉄砲頭、1795年5月に火付盗賊改加役、と寛政改革期に重職を歴任した。この間、1790年11月に布衣を許されている。布衣は狩衣のことで、一定の地位を得た者が江戸城内での儀式に着用を許された。これはたいへん名誉なことであった。

その後、孝盛は1796年12月に西丸付へと異動した。西丸には大御所や次の将軍となる予定の人物が入った。1797年4月には西丸に大納言に任じられたばかりの^dが入っている。孝盛は1802(享和2)年12月に西丸持弓頭、1809(文化6)年6月に西丸鎧奉行となった。1812年6月に隠居し、1815年3月16日に没した。享年78。

孝盛は文人としての一面も有している。和歌に秀で、書にも堪能であった。自伝的随筆ともいえる『^{あま}蟹の^{たくも}焼藻の記』(1798年成立)はこの時代の世相をうかがわせる貴重な史料である。蟹は海人のことで、「蟹の焼藻」とは、漁夫の焼く、波にうち上げられた塵や芥のことである。卑下したタイトルだが、これは新井白石の^eに影響を受けている。

B

・天明の末には、^f発行にて、賢愚となく権門賄賂をもて朝夕権家に往来して、追従する世の習しなり。

- ・天明七年五月の半より、市中米屋を打崩す事思ひしより夥し。徒党の者大勢有^gて、江戸中大体米屋の分は残らず打崩したり。刺へ京大坂同時に騒動したり。
- ・同(天明7年)七月朔日、布衣以上の諸役人、一役一人宛御前に召されて厚き上意ありたる上、 朝臣嚴重の口達あり。しかりし後は、世の中俄に改りて、*^{かんじやてんねい}姦邪諂佞のやから次第に遠ざけられ、きのふまで惰弱遊樂にのみながれて、武家町人の別ちもなく見えし遊子少年、よんどころなく*^そ僮服短衣に様をかへ、心にも起らぬ学問武芸に往来する有様、腹をかかへたることにて、にがにがしき振舞なり。
- ・寛政七年五月、加役つとめ居たりし長谷川平蔵重病にかかりて、危なかりければ、翁(孝盛)を召て搜捕の役を命じられぬ。(中略) 朝臣の工夫ありて、長谷川に差函ありて、 と云ことを新にくみ立られたり。
- ・阿州(阿波国)の大儒 先生、公より召出されて江府に出たる由を、中川忠英が物語を聞て、是ぞ実の師なるべけれ。夫申入てたまはれとて、未だ阿州の屋敷の長屋に居られたる内に、尋行て始て対面し侍りぬ。

(「蟹の焼藻の記」『日本随筆大成』2期22巻、吉川弘文館、1974年より抜粋)

※括弧内は引用者が補った。一部表記を読み易く変更した。

*姦邪諂佞…よこしまなこと、へつらうこと。

*僮服短衣…粗末な衣服、丈の短い衣服。

問1 下線部 a の人物の身分として正しいものを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 譜代大名 イ 外様大名 ウ 旗本 エ 御家人

問2 下線部 a の人物と生きた年代の重なる人物として誤っているものを、以下のア～エのなかから一人選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 杉田玄白 イ 貝原益軒 ウ 谷文晁 エ 田能村竹田

日本史

問3 下線部 b の年に在職・在位していた将軍と天皇の組み合わせとして正しいものを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 吉宗－桜町 イ 吉宗－光格 ウ 家重－桜町 エ 家重－光格

問4 下線部 c をリットルに換算したおよその数値として正しいものを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 1,800 イ 5,400 ウ 18,000 エ 54,000

問5 空欄 に入る人物として正しいものを、以下のア～エのなかから一人選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 家重 イ 家治 ウ 家斉 エ 家慶

問6 空欄 に入る語句として正しいものを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 古史通 イ 折たく柴の記
ウ 藩翰譜 エ 西洋紀聞

問7 空欄 に入る語句として正しいものを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 堀田家 イ 井伊家 ウ 田沼家 エ 阿部家

問8 下線部 g に関連して、天明年間の出来事として正しいものを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 1782年から87年まで、主に東北地方で冷害が発生した。
イ 1783年、富士山が噴火し、降灰によって不作となり、飢饉が発生した。
ウ 1785年、南海地震が発生し、津波が大坂を襲った。
エ 1787年、幕府の指示で米を買い占めていた米問屋の高間伝兵衛店が打ちこわされた。

問9 下線部 h において上意を發したのは誰か。正しいものを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 老中 イ 若年寄 ウ 將軍 エ 天皇

問10 空欄 に入る人物として正しいものを、以下のア～エのなかから一人を選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 定信 イ 直弼 ウ 意次 エ 直政

問11 空欄 に入る語句として正しいものを、以下のア～エのなかから一つを選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 小石川に町会所 イ 小石川に人足寄場
ウ 石川島に町会所 エ 石川島に人足寄場

問12 下線部 k に関して、その地の特産物で藩による専売制がとられた品物として正しいものを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 生糸 イ 漆 ウ 俵物 エ 藍

問13 空欄 には「寛政の三博士」の一人が入る。その人物を、以下のア～エのなかから一人を選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 高山彦九郎仲繩 イ 柴野彦助栗山
ウ 林子平六無齋 エ 蒲生伊三郎君平

日本史

〔Ⅳ〕 つぎの文章を読み、下記の問いに答えよ。

現在、日本には数多くの大学が存在する。近代の大学の起源をもとめると、その一つに位置づけられるのは、江戸幕府が1857年に洋学研究および教育機関として設置した蕃書調所である。同所は、1862年に洋書調所、その翌年に開成所と名称を改め、明治政府のもとで開成学校となる。開成学校が紆余曲折の末、東京大学になったことは、広く知られる。

蕃書調所が最初におかれたのは、九段坂下竹本主水正屋敷(現在の東京都千代田区九段南1丁目6のあたり)であった。その後は別の場所への移転を経て、1862年頃には一橋門外護持院原(現在の千代田区神田錦町3丁目28のあたり)に移った。現在この地には「東京大学発祥の地」の石碑がおかれている。

今回は、最初に蕃書調所がおかれた九段南から、神田錦町の「東京大学発祥の地」まで歩いてみることにしよう。二つの場所は直線で結べば1kmもないが、あえて旧江戸城の内堀・外堀を反時計回りに大きく迂回するコースをとることとし、途中折々に歴史めぐりを交えてみたい。

スタート地点の九段南から旧江戸城内堀沿いに反時計回りで進むと、やがて目の前に千鳥ヶ淵が広がる。そこを過ぎると右側に建つ西洋館が^aイギリス大使館である。大使館を過ぎ、左側に皇居の森を眺めながら内堀通りを進む。半蔵門交差点で右折すれば甲州街道である。四ツ谷駅を越したところで交差点を左折すると、正面に迎賓館赤坂離宮が望まれる。この地には、かつて仮皇居とともに^b太政官がおかれていた。迎賓館の塀を右側にみながら外堀通りを進むと、やがて紀伊国坂の交差点に到達する。左折して旧江戸城の外堀を渡ると、かぎ状になった道路と土塁がある。喰違見附跡である。1874年1月14日、この付近で^c岩倉具視が襲撃される事件、いわゆる「喰違の変」が起きている。なお喰違見附跡を越えて、紀尾井坂を下ったその先では、1878年5月14日、参議兼^d内務卿大久保利通が暗殺される「紀尾井坂の変」が起きている。

ふたたび紀伊国坂の交差点に戻って、外堀通りを進む。紀伊国坂を下り、赤坂見附の交差点を越し、日枝神社を左側に望みながら進むと、左側の高台に^e首相官邸の建物が見え隠れする。さらに外堀通りを進めば、左側に文部科学省の建物が

みえてくる。この付近には、かつて工部大学校があった。さらに進んで虎ノ門の交差点を過ぎ、西新橋交差点まで来たら左折し、ここからは日比谷通りを北進する。すると、まもなく日比谷公園が左側いっぱい広がる。公園と向かい合った場所には、かつて鹿鳴館が建っていた。

日比谷公園を過ぎると、左側に日比谷濠と皇居外苑が広がり、右側には第一生命本館(現・DNタワー21)の建物がみえる。皇居外苑の一角には楠木正成像がある。銅像の頭部の制作を担当したのは高村光雲である。第一生命本館の建物は、占領期には連合軍最高司令官総司令部(GHQ)の庁舎であった。右側に広がる丸の内地区は、ビジネス街として知られるが、第二次世界大戦後の1951年には、その一角に琉球臨時中央政府駐日貿易代表事務所がおかれたこともあった。

日比谷通りをひたすら北に進み、1964年、東京オリンピックの基盤整備の一環として設けられた首都高速道路の高架下を抜け、その先の美土代町交差点で左折すると、神田警察通りに入る。通りを直進すると、やがて左側に神田税務署の建物が目にはいつてくる。この場所にはかつて錦輝館という多目的施設が建っていた。錦輝館は東京の映画発祥の地として知られるが、赤旗事件の起きた場所でもあった。神田税務署を過ぎれば、すぐさまゴール地点の「東京大学発祥の地」にたどり着く。

以上、近代の大学にちなんだ場所を起点・終点にして散策を試みてみたが、東京がさまざまな歴史の舞台となったことが十分に実感できるものとなった。

日本史

問1 下線部 a に関連して、日本とイギリスのかかわりの説明として**誤っているもの**を、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 1886年、イギリス船ノルマントン号が紀伊半島沖で沈没した。イギリス領事による裁判では、当初、船長の過失が問われなかったため、日本国内の世論は沸騰した。

イ 1894年、ロンドンにおいて関税自主権の完全回復などを盛り込んだ日英通商航海条約が調印された。

ウ 1927年、アメリカ、イギリス、日本、三か国の補助艦制限のため、ジュネーブにおいて軍縮会議が開催された。

エ 1941年、日本の南進政策に対し、イギリスはアメリカ、オランダ、中国とともにA B C Dラインといわれる包囲網を形成した。

問2 下線部 b に関連して、太政官のもとにおかれた官庁には**該当しないもの**を、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 工部省 イ 開拓使 ウ 教部省 エ 法制局

問3 下線部 c に関して、岩倉具視の説明として**誤っているもの**を、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 公家の出身である。

イ 討幕の密勅に関与した。

ウ 明治政府で右大臣に就任した。

エ 留守政府の首脳をつとめた。

問4 下線部 d の内務卿に関連して、内務省の説明として**誤っているもの**を、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 全国の警察を統轄した。

イ 地方行政に関する事務を管理した。

ウ 土木に関する事務を管理した。

エ 1945年に廃止された。

問5 下線部 e に関連して、1885年に制定された内閣制度の説明として誤っているものを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 国務大臣は内閣総理大臣のもと閣議の一員を構成した。
- イ 内閣制度の創設に伴い、太政官制は廃止された。
- ウ 宮内省は内閣の外に置かれたが、宮内大臣は国務大臣として閣議に加わった。
- エ 内閣総理大臣や国務大臣は、天皇に対してのみ責任を負った。

問6 下線部 f に関連して、工部大学校にかかわる説明として誤っているものを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 1874年、工部省所管の工学校として発足した。
- イ 1885年、所管官庁が工部省から文部省所管に移った。
- ウ 教師のなかには、アメリカ人のモースがいる。
- エ 卒業生のなかには片山東熊がいる。

問7 下線部 g に関連して、この付近にて起きた虎の門事件によって総辞職した内閣の首相は、過去に内閣を組織した際にも、ある事件をきっかけに総辞職している。ある事件の名称として正しいものを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 義和団事件
- イ ジ(シ)ーメンス事件
- ウ 日比谷焼打ち事件
- エ 柳条湖事件

日本史

問8 下線部 h に関して、鹿鳴館にかかわる説明として**誤っているもの**を、以下のア～ウのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。いずれも正しい場合には、エを解答欄にマークせよ。

ア 鹿鳴館は、外国人要人接待の社交場として建設された。

イ 井上馨外務卿(外相)は鹿鳴館を活用して条約改正交渉に取り組んだが、極端な欧化主義であるとして国権・民権の両方の論者から批判を招いた。

ウ 鹿鳴館を設計したのは、アメリカ人建築家のフランク＝ロイド＝ライトである。

問9 下線部 i に関して、高村光雲の作品として正しいものを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 転生 イ 老猿 ウ 坑夫 エ ゆあみ

問10 下線部 j に関連して、初期の占領政策にかかわる説明として**誤っているもの**を、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア GHQの指令・勧告に基づき日本政府が政治をおこなう間接統治の方法がとられた。

イ GHQは、農地改革の実施をもとめた。

ウ GHQは、教科書の不適當な記述の削除と軍国主義的な教員の追放を指示した。

エ GHQは、国民生活の向上のため経済復興をつよくもとめた。

問11 下線部 k に関連し、第二次世界大戦後の沖縄にかかわる説明として**誤っているもの**を、以下のア～エのなかから一つ選び、記号を解答欄にマークせよ。

ア 1972年に返還されるまで、アメリカの施政権下におかれた。

イ 1952年には琉球政府がおかれ、議会にあたる立法院の議員はアメリカ側で任命した。

ウ 祖国復帰運動が繰り広げられ、1960年代に活発化した。

エ 1968年、琉球政府主席の公選がおこなわれ、屋良朝苗が当選した。

問12 下線部1に関連し、1960年代の国内交通における出来事を古い順から並べたものとして正しいものを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 東海道新幹線開通→名神高速道路全通→東名高速道路全通→ジェット機導入
- イ ジェット機導入→東海道新幹線開通→名神高速道路全通→東名高速道路全通
- ウ ジェット機導入→東海道新幹線開通→東名高速道路全通→名神高速道路全通
- エ 東海道新幹線開通→名神高速道路全通→ジェット機導入→東名高速道路全通